

(枚方市立図書館第3次グランドビジョン [素案])

第1章 はじめに

(1) 第3次グランドビジョン策定の背景と趣旨

少子高齢化、グローバル化の進展、地域社会・家族の変容等の激しく変化する社会状況の中で、文部科学省は、第2期教育振興基本計画を策定し、教育行政の4つの基本的方向性(注1)、8つの成果目標(注2)、30の基本施策(注3)を定め、図書館を含む社会教育行政については、社会教育推進体制の強化を基本施策として打ち出し、その具体化のための方向性として、地域の様々な主体との連携・協働による地域課題解決への支援を行うことをあげています。

枚方市教育委員会(以下「教育委員会」という)では、国の考え方等も踏まえながら、「人とふれあい、ともに学び、豊かな心を育む」という本市の教育全体を包含する教育目標を定め、枚方市立図書館(以下「市立図書館」という)については「生涯学習を支援し、情報活用環境を高める図書館サービスの充実」を基本目標と定めて、図書館運営を行ってきました。

そして現在、これからの教育行政の方向性も含めた、本市全体の施策を方向付ける、第5次枚方市総合計画の策定作業を進めており、市立図書館に関する施策については、以下のように方向付けようとしています。

●基本目標

一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち

●施策目標

誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち

●課題

市民の学びや地域社会への貢献意欲が高まる中、生涯にわたって学び、その成果を活用できる機会の充実が求められています。

●取組の方向

市民が利用しやすい魅力ある図書館運営と知の源泉となる図書館機能の充実を図り、豊かな心を育む市民の生涯学習を支援します。

●主な取組

- * 市民が利用しやすい図書館環境の充実
- * 図書館による市民の生涯学習活動の支援・子ども読書活動の推進
- * 指定管理者制度の導入など効率的・効果的な図書館運営

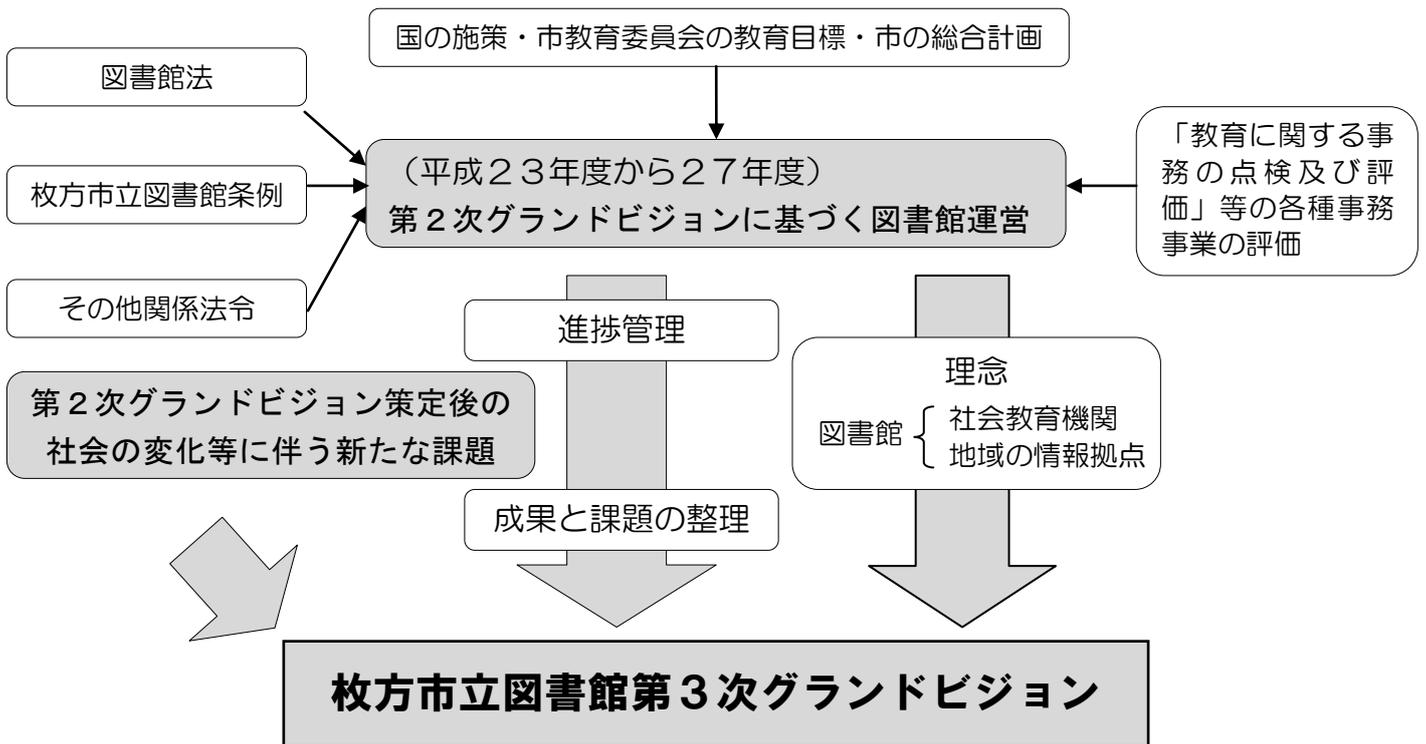
このような状況の中、市立図書館は、平成23年度から平成27年度までの図書館サービスの方向性を示した「枚方市立図書館第2次グランドビジョン」(以下「第2次グランドビジョン」という)に基づき、図書館運営を行っています。

第2次グランドビジョンについては、枚方市社会教育委員会議(以下「社会教育委員会議」という)において、毎年度その進捗状況に係る評価を行い、その後の図書館運営に生かしてきました。

このたび第2次グランドビジョンの計画期間の終期を迎えるにあたり、教育委員会は、第2次グランドビジョンの総括を行い、その成果と課題を明らかにするとともに、社会教育委員会議において、その総括について検討を行いました。

変化の激しい社会において、魅力的かつ効果的・効率的な図書館運営を安定的に行っていくためには、終期を迎えた第2次グランドビジョンに続く、平成28年度以降の図書館運営・サービスを方向付ける新たなビジョンの存在が不可欠です。

そこで、第2次グランドビジョンの成果と課題とともに、第2次グランドビジョンで長期的な位置づけを行った市立図書館の理念（市立図書館は社会教育機関と地域の情報拠点の2側面を持つ）や第2次グランドビジョン策定以降明らかとなった、社会の変化等に伴う市立図書館の新たな課題、市議会からいただいた、今後の枚方市立図書館の運営に係るご意見、さらに市民意見等も踏まえながら、平成28年度以降の図書館運営・サービスを方向付ける、枚方市立図書館第3次グランドビジョン（以下「第3次グランドビジョン」という）を策定します。



(注1) 教育行政の4つの基本的方向性・・・①社会を生き抜く力の養成、②未来への飛躍を実現する人材の養成、③学びのセーフティネットの構築、④絆（きずな）づくりと活力あるコミュニティの形成

(注2) 8つの成果目標・・・

(方向性①「社会を生き抜く力の養成」の成果目標)

(1) 生きる力の確実な育成（幼稚園～高校）、(2) 課題探求能力の習得（大学～）、(3) 自立・協働・創造に向けた力の習得（生涯全体）、(4) 社会的・職業的自立に向けた力の育成

(方向性②「未来への飛躍を実現する人材の養成」の成果目標)

(5) 新たな価値を創造する人材の育成

(方向性③「学びのセーフティネットの構築」の成果目標)

(6) 意欲ある全ての者への学習機会の確保、(7) 安全・安心な教育研究環境の確保

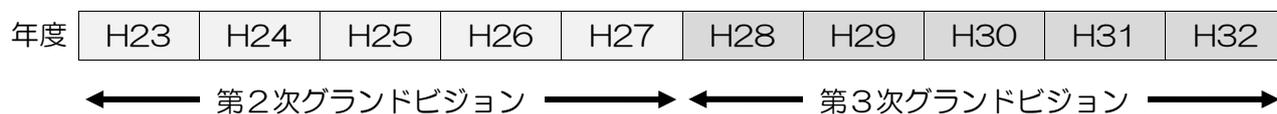
(方向性④「絆（きずな）づくりと活力あるコミュニティの形成」の成果目標)

(8) 互助・共助による活力あるコミュニティの形成

(注3) 30の基本施策・・・それぞれの成果目標のもとに計30の基本施策を設定し、社会教育関連施策は、成果目標(1)～(8)にまたがる「施策30 社会教育推進体制の強化」を設定している。

(2) 計画の期間

第3次グランドビジョンの計画期間については、変化の激しい社会の中で、ビジョンで示した市立図書館の運営・サービスの方向性が、市立図書館をめぐる状況の変化と乖離し、時代状況に合わなくなるようなことがないように、第2次グランドビジョンの計画期間と同じ5年程度の中期的な計画とします。



(3) 第3次グランドビジョンの策定体制

①枚方市社会教育委員会議による審議

第3次グランドビジョンの策定にあたっては、社会教育、家庭教育、学校教育に係る学識経験者や市内各種団体の代表者等で構成される社会教育委員会議で、幅広い観点からご意見をいただきました。

②市民意見等の聴取の実施

市の政策形成過程における透明性及び公正性の向上を図るとともに、市政への市民等の参加を促進することを目的として、市民意見の聴取を行いました。

a. 実施期間

平成27年12月●日から12月●日（20日間）

b. 実施方法

- (1)パブリックコメント
- (2)各図書館施設窓口への意見箱の設置
- (3)FAX等による意見募集

以上のほか、市立図書館各施設には、常時ご意見箱を設置しており、そこでいただいた市立図書館運営に関するご意見や、館内で実施した行事等の参加者に対するアンケート結果等も第3次グランドビジョン策定の参考としました。

第2章 市立図書館をとりまく状況

(1) 市立図書館をとりまく社会的な状況

①我が国全体をとりまく社会的状況

我が国では、現在、少子・高齢化、人口減少、グローバル経済と高度情報化の深まりに伴う知識基盤社会（新しい知識や情報・技術などが経済のみならず、社会のあらゆる領域における活動の基盤として飛躍的に重要性を増す社会）の進展状況の中での我が国の国際的な存在感の低下、雇用環境の変容による若年者の失業率・非正規雇用の割合の増加、地域社会・家族の変容に伴う人々の孤立化、環境問題、エネルギー問題等の世界規模での課題に対処するための、持続可能な社会の構築に向けた取組の必要性の高まりなど、さまざまな課題を抱えており、これは本市においても例外ではありません。

これらの状況は、生産年齢人口の減少、地域経済の規模の縮小、税収の減少、社会保障費の拡大、地域社会等のつながりの希薄化や支え合いによるセーフティネット機能の低下等を引き起こし、ひいては今まで培われてきた文化・規範の次世代への継承が困難となるおそれや、これらの状況と相まって、格差の再生産・固定化により、社会の活力低下や不安定化につながるものが指摘されています。

また、環境問題、エネルギー問題などの地球規模の課題については、すべての生命の維持に危機的な状況をもたらしていることから、地球環境保全の観点での取組が求められています。

本市においては持続可能な社会の構築に向けて、現在これらの課題に全市を上げて取り組んでおり、今後さらに取組を進めるべき課題となっています。

②全国の図書館をめぐる状況

文部科学省が設置した「これからの図書館の在り方検討協力者会議」が平成18年にまとめた「これからの図書館像 ～地域を支える情報拠点をめざして～（報告）」では、我が国をとりまく社会状況等を踏まえ、これからの図書館サービスに求められる新たな視点として、①図書館活動の意義の理解促進、②レファレンスサービスの充実と利用促進、③課題解決支援機能の充実をあげ、これからの図書館が目指すべき図書館像として、「役に立つ図書館」をそのキーワードとしてあげています。

同報告書では、住民が日常生活をおくる中で生じる課題の解決のための図書館による支援を重要視し、その支援の中身として、行政支援、学校教育支援、ビジネス（地場産業）支援、子育て支援等をあげ、そのほか、医療・健康、福祉、法務等に関する情報や地域資料など、地域の実情に応じた情報提供サービスの必要性も説いています。

この流れと軌を一にして、静岡市立御幸図書館のビジネス支援や鳥取県立図書館の行政支援、市川市立図書館の学校図書館支援等に積極的に取り組む図書館が目されるようになり、現在に至っています。

また、特徴的なサービスを行う図書館も注目されており、コンシェルジュが本を案内する千代田図書館や、自宅やお店の玄関先のスペースに本棚を置いてもらって、地域の人々に本を提供することで、人々がつながることを目指す「まちじゅう図書館構想」を打ち出した長野県小布施町の取組、マスコミで報道され話題となった、ビジネス支援に力を入れる鳥取県立図書館、T S U T A Y Aを経営するカルチャーコンビニエンスクラブ（CCC）と武雄市が組んで、カフェを併設し、図書・雑誌の販売も行う武雄市図書館など、今までになかった図書館が次々に登場しています。

市立図書館は、これらの考え方や事例を参考にしながら、枚方市の実情に即した、より魅力的で効果的・効率的な図書館像を提示することを求められています。

③ 厳しい本市の財政

一方、本市の財政状況に目を向けて見ると、市税収入については、平成27年度以降、平成35年度までの財政見通しでは、ほぼ横ばいの傾向が続くと予想されています。

ただし、歳出については、扶助費の増大や市民ニーズの多様化への対応のため、財政状況に余裕があるわけではありません。

本市では、財政構造の弾力性の向上、財政運営の堅実性の確保、人口減少を見据えた次世代の負担軽減を基本姿勢として財政運営を行っており、図書館運営においても、厳しい財政状況の中で、経費を増大させることなく、サービス向上を図る基本的な姿勢が求められています。

(2) 市立図書館の現状

市立図書館は、現在、以上のような市立図書館をとりまく状況のもとで運営を行っており、また、その法的な位置づけや歴史、運営状況等は以下のとおりです。

① 図書館とは

図書館は、社会教育法により、社会教育のための機関として位置づけられています。

図書館法に示されたその目的は、収集した資料の提供を通じて、教養・調査研究・レクリエーション等に資することであり、さらにそのサービス提供において、一般公衆の希望に応え、また学校教育を支援し、家庭教育の向上に資するために以下のようなサービス提供を行うよう努めることとされています。

(図書館サービスの中身)

- * 資料・情報の収集・保存・提供
- * 資料・情報等に関する知識・経験を有する職員によるレファレンス(注4)
- * 図書館の設置
- * 自動車文庫の巡回
- * 各種行事等の開催および開催の援助
- * 人々が社会教育・生涯学習により学んだ成果を生かす機会の提供
- * 学校ほか関連機関との連携・協力

(注4) レファレンス・・・図書館利用者が必要な情報・資料などを求めた際に、図書館職員がそれを支援するサービス

②市立図書館の歴史

枚方市における図書館活動は、昭和27年の大阪府立枚方ブックステーションの設置にはじまり、枚方市が運営する図書館活動については、昭和40年の枚方市図書センターの設置にはじまります。

この枚方市図書センターは、集会施設等を備えた枚方市市民会館3階に設置されました。現在、市内6ヶ所に、生涯学習施設と図書館の複合施設が設置されていますが、市立図書館のはじまりが、複合施設内への設置であったことは、本市の図書館の特徴がよく現れています。

その後、昭和48年の枚方市立図書館条例の施行により、枚方市図書センターが枚方市立図書館となり、その後は以下のような歴史をたどり、現在に至っています。

～昭和48年3月

- *大阪府立枚方ブックステーション (S27)
- *枚方市図書センター (S40)
- *活発な家庭文庫・地域文庫活動 (17文庫 [S47])

昭和48年～56年

図書館条例に基づく

枚方市立図書館のはじまり

→分室と自動車文庫を中心として、図書館サービスを普及

- *枚方市立図書館条例施行 (S48)
- *枚方市立図書館開設 (S48) [その後名称が「枚方図書館」に]
- *自動車文庫運行開始 (S48)
- *あいつぐ分室の開室
- *香里ヶ丘図書館開館 (S49)
- *自動車文庫ステーション53ヶ所に (S56)

昭和57年～平成2年

分館整備期

→地域のサービス拠点の整備

- *あいつぐ図書館(分館)の開館
 - ・楠葉 (S57) ・菅原 (S58/H9 移転) ・山田 (S60)
 - ・蹠跽 (S61) ・御殿山 (S62) ・牧野 (S63) ・津田 (H2)
- *3分室開室

平成3年～平成16年

サービス拡充期

→ハードの整備が一段落し、ソフトを充実

- *分館建設が一段落しサービス拡充期へ
- *貸出冊数が増大 (228万冊[H3]から324万冊[H16])
- *市民病院の小児病棟への自動車文庫によるサービス開始 (H3)
- *聴覚障害者にマンガの貸出を開始 (H7)
- *各図書館にコンピュータシステム導入 (H9～)

平成17年4月～

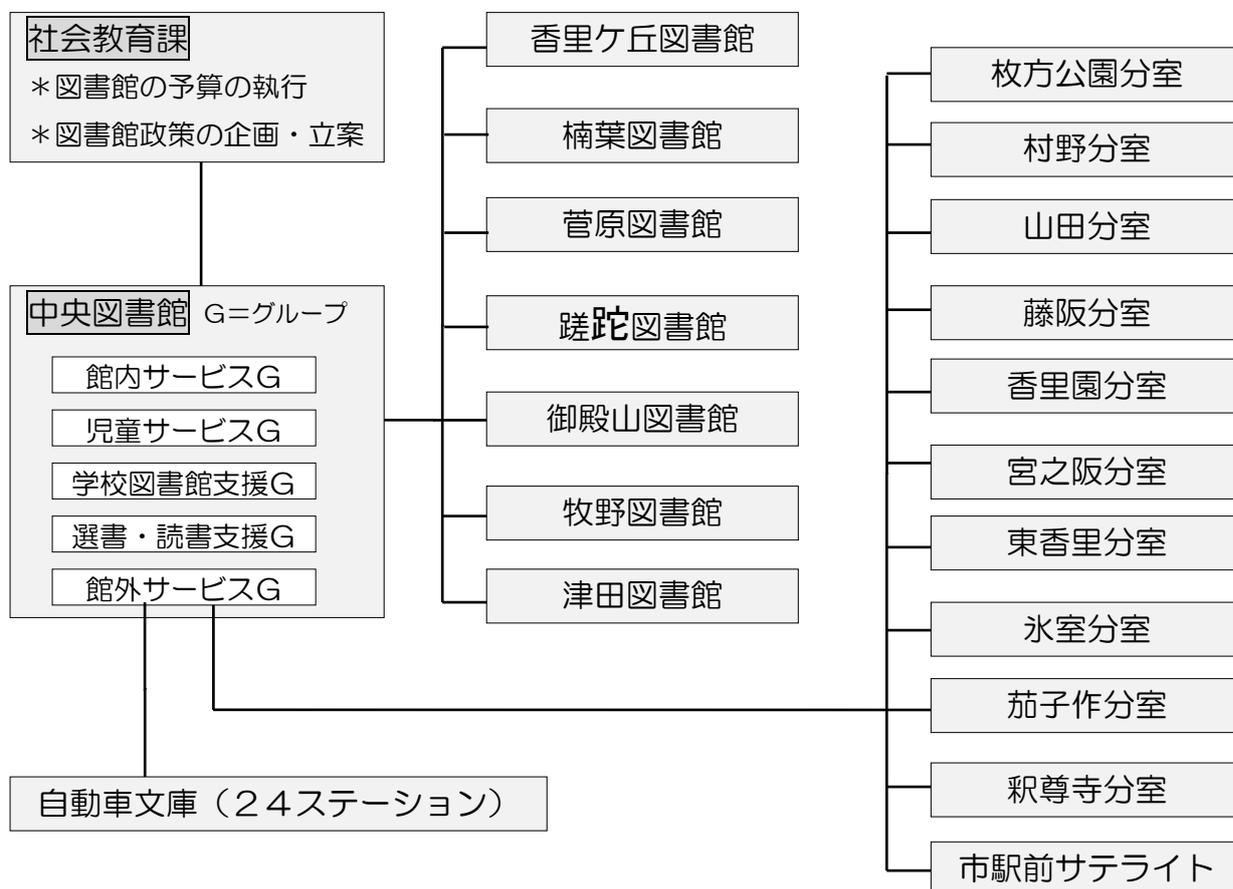
中央図書館開設

→中央図書館をネットワークの要とした全館一体となったサービスを展開

- *全館のネットワークの要としての中央図書館開館 (H17)
- *市駅前サテライト開室 (H18)
- *政令指定都市と特別区を除き、貸出冊数日本一になる (H20・H21)
- *インターネット予約システム導入 (H21)

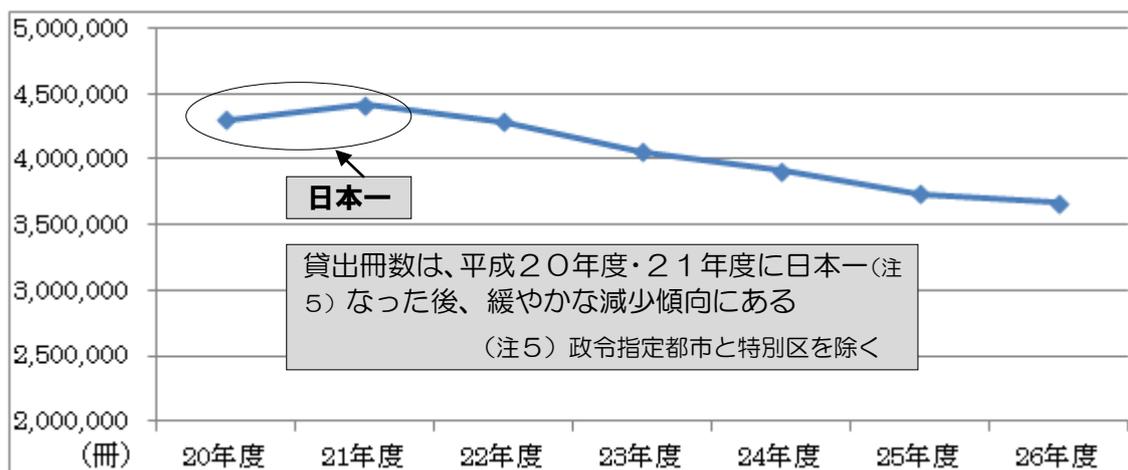
③施設等の状況

市立図書館は、現在、中央図書館、7分館（うち香里ヶ丘図書館を除く6分館が生涯学習施設と併設）、11分室の固定施設を設置し、固定施設を利用しにくい地域に自動車文庫（1台）の24のステーションを設置して運営しています。

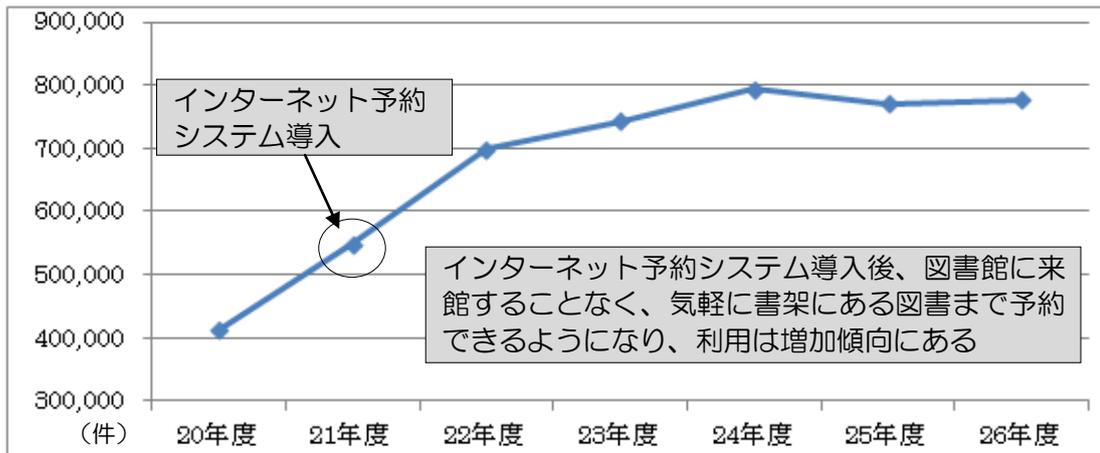


④図書館のサービス状況の推移

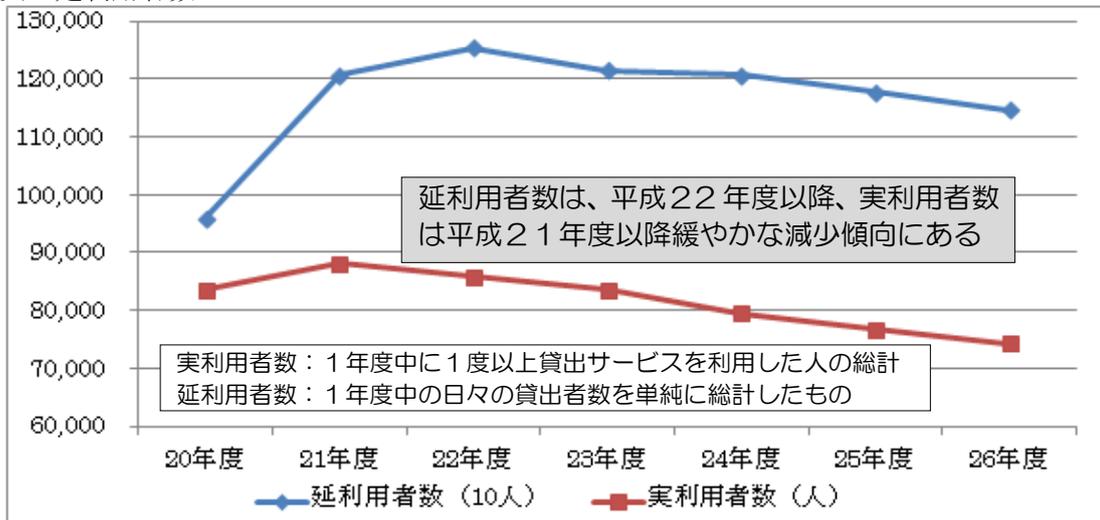
a. 貸出冊数



b. 予約件数



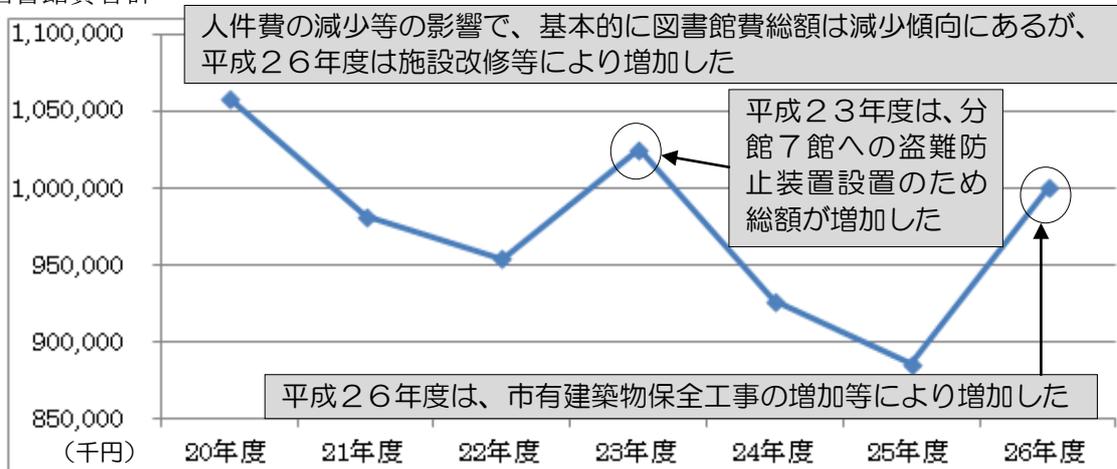
c. 実・延利用者数



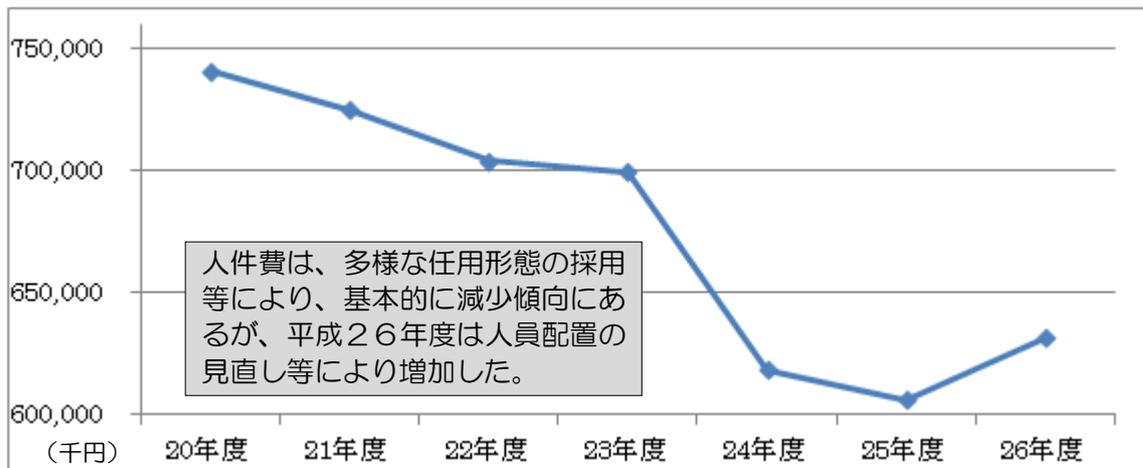
サービス状況全体としては、予約が延びている一方で、貸出冊数・利用者数ともに緩やかな減少傾向にあり、利用者ニーズを踏まえた蔵書の分析を行い、今後の資料収集に役立てます。

⑤ 図書館運営経費の推移

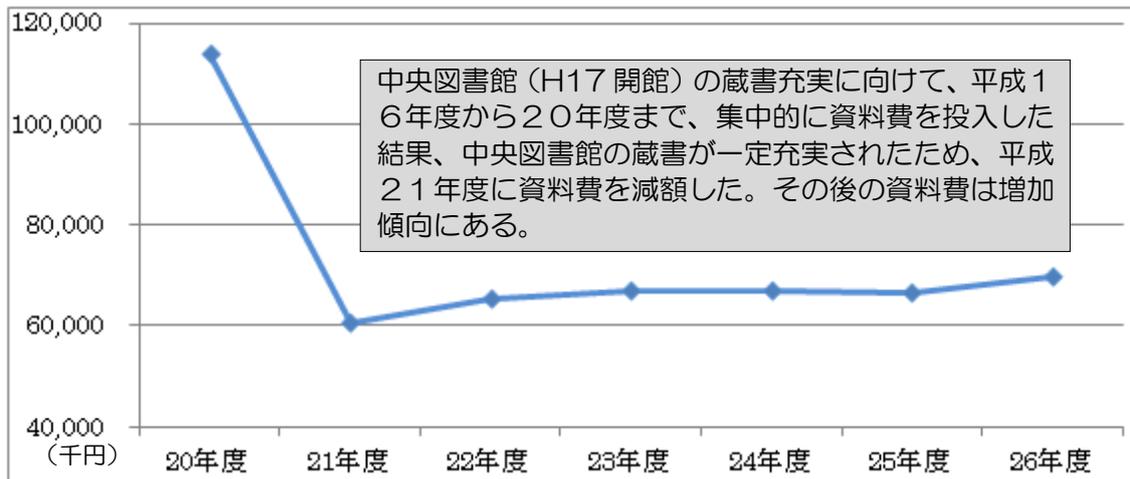
a. 図書館費合計



b. 人件費



c. 資料費（図書・雑誌・オーディオビジュアル資料等の購入経費）



⑥市立図書館の特色

a. 市域を網羅する図書館サービス網

市立図書館では、多くの図書館施設と自動車文庫のサービスステーションによって、市域全体に図書館サービスの網をかけ、市民の身近な場所での図書館サービスを実現（これを「全域サービス」と言います）しており、これは市立図書館の特徴の一つです。

全域サービスを行うことによって、子ども・障害者・高齢者を含む市民誰もが、普段の暮らしの中で読書に親しむことができるようになるだけでなく、市民の読書習慣の維持・向上に役立てることができます。

また、平成26年度からは、有料宅配サービスを開始し、図書館の開館日や開館時間帯等に関わりなく、図書館サービスが利用できるようになり、より市民に身近な図書館サービスを提供できるようになりました。

b. 充実した障害者サービス

市立図書館では、音訳・点訳協力者の協力を得て、視覚障害者等のための対面読書、録音・点字資料の貸出と製作を行っています。また、聴覚障害者等を対象とした、字幕付き映像資料の貸出と製作、聴覚障害者を含むすべての市民を対象にした、さまざまな本を紹介するバリアフリーブックトーク（注6）やバリアフリーおはなし会（注7）などを実施しています。

公共図書館において、対面読書を実施したり、録音・点字図書、字幕付き映像資料等の貸出を実施している図書館は、他の自治体でも見られますが、自ら録音図書や字幕付き映像資料を製作して貸し出したり、手話を交えたブックトークやおはなし会を実施している枚方市立図書館は、数多くの公共図書館の中でも稀有な事例であり、本市の特徴的な図書館サービスと言えます。

また、音訳協力者については、市民公募を行い、養成講座を必要に応じて実施することで、スキルアップに努めていただいております。常に質の高いサービスを提供できる体制が整っています。

（注6）バリアフリーブックトーク・・・テーマを立てて、主に子どもを聞き手として何冊かの本を紹介するブックトークを手話を交えて行うもの

（注7）バリアフリーおはなし会・・・手話を交えて行うおはなし会

c. 多様な子ども読書活動の推進

子ども読書活動の推進は、第2次グランドビジョンにおいて、市立図書館の特徴の1つとして位置付けているものです。

日常的に職員や養成を行ったボランティアによるおはなし会を実施しているほか、子どもを対象としたさまざまな行事の開催、学校との連携事業として、調べ学習コンクールや朗読大会、学校に出向いてのおはなし会等を実施しています。

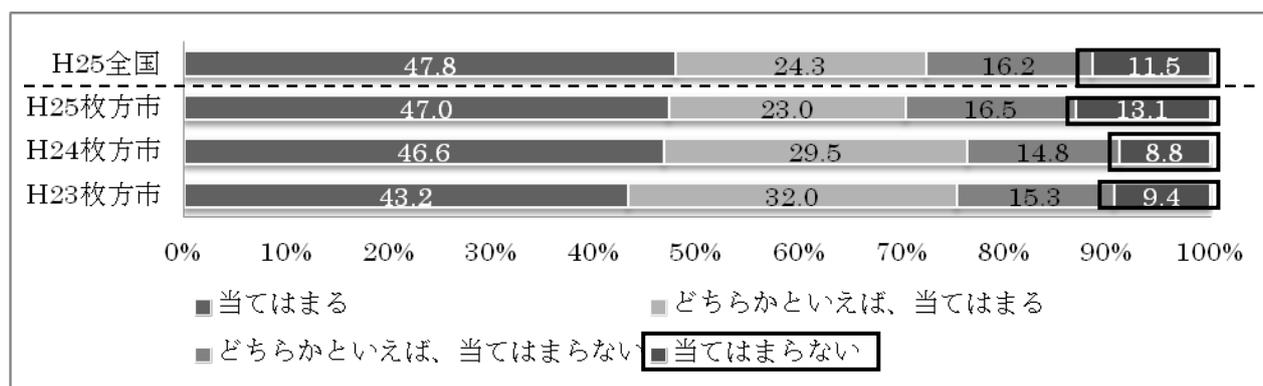
さらに平成26年度からは、市立中学校3校に学校司書各1人を派遣し、図書館運営に係る専門的なアドバイスや学校図書館の整備、学校図書館を活用した授業への協力、生徒や教員が求める資料の収集と貸出など、学校と協力しながら、子どもの読書環境の充実に努めています。

また、同じく平成26年度から、市立図書館と学校を直接結び、団体貸出図書を配送する学校巡回便も運行（試行）しており、近年は、学校との連携・協力による、これからの枚方市やひいては我が国を担っていく子どもの読書環境の充実に特に力点を置いています。

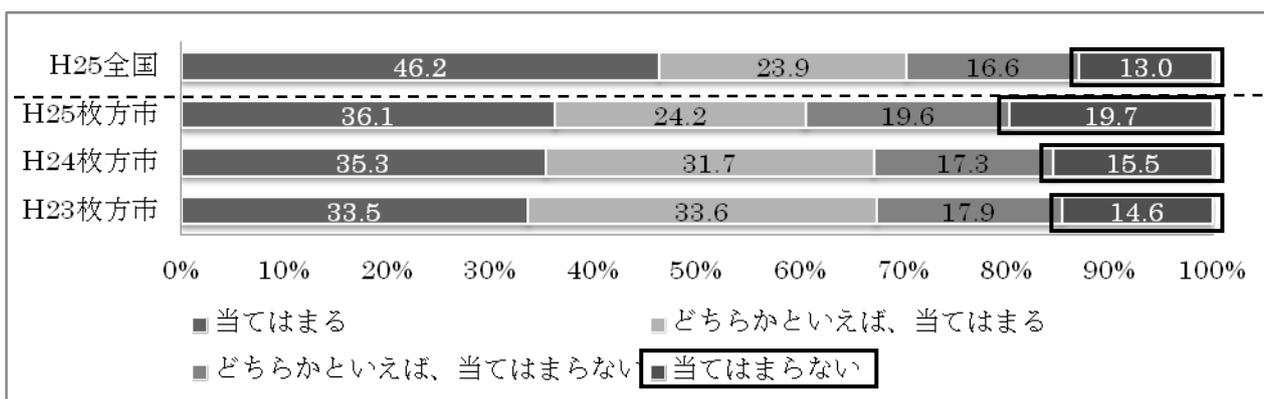
（参考）本市の児童・生徒の読書に対する意識と読書時間（平成25年度 全国学力・学習状況調査より）

1. 読書好き比較

（1）小学生（読書が好きですか？）

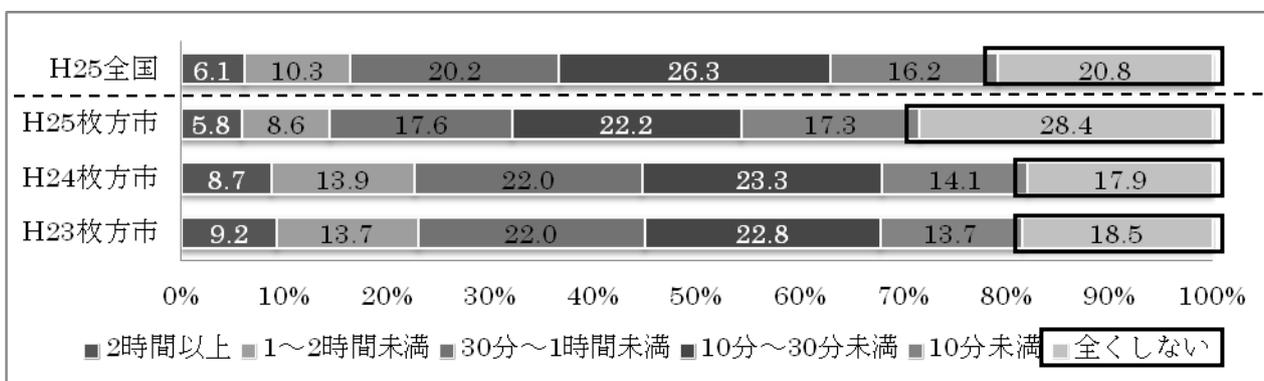


(2) 中学生（読書が好きですか？）

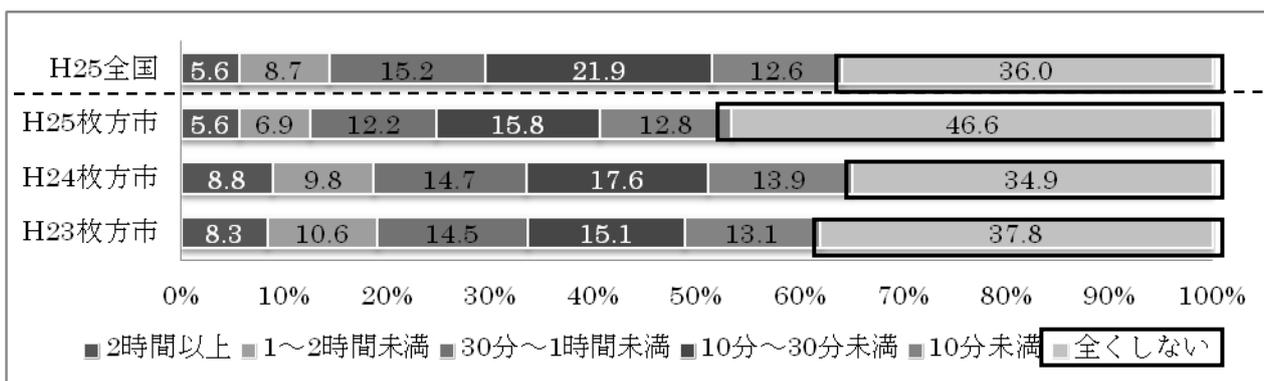


2. 平日1日あたりの読書時間比較

(1) 小学生（平日1日あたりどのくらい読書をしますか？）



(2) 中学生（平日1日あたりどのくらい読書をしますか？）



本市の小・中学生は、全国平均と比較して、読書嫌い・読書をしない子どもの比率が高く、それも小学生よりも中学生が高く、さらに平成25年度は特に高くなっています。

読書と子どもの読解力の関係は、国際比較調査でも明らかになっており、知識基盤社会と言われる現代において、読書好きの子どもを増やし、子どもの頃から読書習慣を身につけさせることは、本市においても喫緊の課題となっています。

第3章 枚方市立図書館第2次グランドビジョンの成果と課題

(1) 第2次グランドビジョン策定の趣旨

第2次グランドビジョンは、中央図書館設置を見据えて、その後の市立図書館運営の方向性を示した枚方市立図書館グランドビジョン（第1次）の成果と課題と、第1次のグランドビジョン策定以降現れてきた新たな課題や本市の財政状況等を踏まえ、市立図書館の「あるべき姿」の実現に向けた図書館運営・サービスの方向性を示したものです。

(2) 市立図書館のあるべき姿（理念）

第2次グランドビジョンでは、市立図書館のあるべき姿として、次の二つの理念を定めました。

市立図書館のあるべき姿（理念）

- 図書館は、知の源泉となる図書館資料を収集・保存し、広く市民に提供して、その教養、調査研究、余暇活動などに役立てる社会教育機関である。
- 図書館は、市民のニーズに応じて資料や情報を提供する地域の情報拠点である。

この理念は、図書館には、知の源泉となる図書館資料を提供して、市民の読書を推進し、生涯学習を支援する社会教育機関としての役割と、社会が高度に情報化する中で、豊富で確かな情報を集め、提供し、市民の生活や仕事に役立つ地域の情報拠点としての役割があり、これらをバランスよく総合的に発展させることが大切との立場で定めたものです。

それまで市民ニーズに応えることで、市民サービスを向上し、市民にとっての市立図書館の価値を高めてきたことに加え、あらためて図書館が社会教育機関であることを明らかにすることによって、市民ニーズを大切にしながらも、図書館本来の役割である教養や調査研究等にも配慮した図書館運営を行うことで、さらに図書館の価値を高めようと定めたもので、この理念は第3次グランドビジョンにも通底する理念です。

(3) 市立図書館の運営基本方針

第2次グランドビジョンでは、新たに定めた市立図書館のあるべき姿を実現するため、次の五つの運営基本方針を定めました。

市立図書館の運営基本方針

- (1) 市民の生涯学習を支援する図書館をめざします。
- (2) 図書館資料を計画的・系統的に収集し、未来に伝える図書館をめざします。
- (3) 市民のニーズに応じて、役に立つ図書館をめざします。
- (4) だれもが使いやすく、市民とともに歩む図書館をめざします。
- (5) 効率的効果的なサービス提供を行う図書館をめざします。

第2次グランドビジョンでは、これらの基本方針それぞれに、各サービスのサービス展開の方向を定め、市立図書館では、その方向に向けてさまざまなサービスを実施してきました。また、市立図書館の特徴づくりとして、子ども読書活動の推進と郷土・行政資料だけでなく「枚方」をキーワードと

したさまざまな分野の資料を収集する「枚方地域コレクション」の構築にも力を注いできました。

なお、第2次グランドビジョンについては、その成果と課題について毎年度評価を行い、社会教育委員会議からご意見をいただいて、その後の図書館運営に活かしてきました。

(4) 第2次グランドビジョンの主要な成果と課題

市立図書館では、第2次グランドビジョンに基づき図書館運営・サービスを行って来ましたが、その主要な成果と課題は以下のとおりです（注8）。

運営基本方針	成果	今後の課題
<p>1. 市民の生涯学習を支援する図書館をめざします</p>	<p>「図書館利用者層の拡大」については、年齢層を意識した事業や、きめ細かな情報提供を実施したが、少子化の影響やライフスタイルの変化もあり、全国的に図書館利用が減少傾向にある中で、目標である実利用者率 25%を達成することができなかった。</p> <p>「子ども読書活動の推進（学校図書館等との連携）」については、子ども向けのさまざまな事業実施や中高生向けの読書環境の整備、中央図書館のこどものフロアの開館時間帯の延長、学校との連携事業の実施、学校図書館への学校司書の派遣や学校巡回便の運行（試行）の開始、読み聞かせボランティアの育成など、子ども読書活動の推進に係る事業や環境整備を積極的に行った。</p> <p>「成人サービスの充実」については、一般教養中心の蔵書・資料構成から、課題解決にも役立つ蔵書・資料構成に改め、図書・雑誌、オーディオ・ビジュアル資料、商用オンラインデータベースなど、幅広い資料の収集・提供を行った。また、図書館における文化活動として、読書会やロビーコンサート、障害者理解を促進するバリアフリー映画上映会等を実施し、その実施回数を増加させた。</p> <p>「高齢者サービスの充実」については、大活字図書の収集に努めるとともに、高齢者の関心の高い医療・介護関連の情報収集に努めた。</p> <p>（総括）取組全体として、市民の生涯学習支援の役割を概ね果たすことができた</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数の増加 ・市立全中学校へのさらなる学校司書の派遣をはじめとした、学校との連携・協力の強化 ・情報活用能力（情報リテラシー）の育成やビジネス支援など、市民の課題解決に役立つ知識や情報のさらなる提供 ・より良く生きるために必要な資料のさらなる収集と高齢者の生涯学習に資する事業の継続

（注8）第2次グランドビジョンの主要な成果と課題・・・本成果と課題は、平成27年7月に教育委員会が行った第2次グランドビジョンの総括と第33期枚方市社会教育委員会議が提出した意見書の内容をまとめたもの。

運営基本方針	成果	今後の課題
<p>2. 図書館資料を計画的・系統的に収集し、未来に伝える図書館をめざします</p>	<p>「図書館資料の充実」については、枚方市立図書館蔵書計画を策定し、市民ニーズを反映した蔵書と学問体系を意識した知識・教養を高める蔵書のバランスを重視した蔵書構成を目指して、図書やオーディオ・ビジュアル資料の充実に努め、また、定期的に図書の入れ替え等を行い、魅力ある書架の維持・向上に努めた。</p> <p>「枚方地域コレクションの構築と専門的なレファレンス」については、コレクションの充実、書誌データの整理を行うとともに、郷土・行政資料等の電子化にも取り組み、資料の検索・提供環境の整備を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の選書能力の向上と、状況に応じた蔵書計画の改訂、選書方法の改善 ・ さらなる枚方地域コレクションの充実、郷土・行政資料等の電子化
<p>(総括) 計画的・系統的な図書館資料の収集と保存体制が確立できた</p>		
<p>3. 市民のニーズに応じて、役に立つ図書館をめざします</p>	<p>「インターネット予約システムの充実やリクエストサービスの推進」については、インターネット予約システムソフトの更新を行い、「カート方式」と「セット予約方式」を導入し、システム利用における利便性を向上させた。また、リクエストについては、自治体間の相互貸借を基本に、毎年度70万冊以上のリクエスト対応を行った。</p> <p>「レファレンスサービス（調べ物相談）等の充実」については、レファレンスサービスの周知に努め、求めに応じて必要な資料・情報の検索・提供を行うとともに、読書相談等にも応じ、市民の課題解決に向けた支援を行った。また、問い合わせの多い内容について、その調べ方に係る案内（パスファインダー）を作成し、窓口やホームページで情報提供を行うなど、レファレンス事例の公開に努めた。</p> <p>「情報通信機器を活用したサービスの充実」については、商用オンラインデータベースやインターネットのアクセスできる端末の提供に努め、その利用が増加した。また、電子書籍の導入に向けた調査研究を行い、現時点での導入は時期尚早であると判断した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予約・リクエスト図書の提供体制と蔵書の充実 ・ 職員が持つ専門的な知識・技術を生かしたレファレンスサービスの充実 ・ 商用オンラインデータベースやインターネット端末のさらなる充実 ・ 電子書籍の導入に向けた積極的な情報収集
<p>(総括) 市民のニーズに応え、役に立つ図書館運営を行うことができた</p>		

運営基本方針	成果	今後の課題
<p>4. だれもが使いやすい、市民とともに歩む図書館をめざします</p>	<p>「障害者・高齢者サービスの充実」については、大活字図書 の収集、録音・点字図書・字幕付き映像資料の製作・収集な ど資料の充実を図り、その提供を行うとともに、対面読書や 録音図書の製作に従事する音訳協力者の育成を行い、高齢 者・障害者に対するサービス環境の整備に努めた。また、バ リアフリー行事や宅配サービスを行い、障害者を含めた読書 環境の充実を図った。</p> <p>「図書館活動への市民参加と市民意見の反映」については、 中央図書館で毎年度100人程度の市民に対しボランティア の機会を提供し、市民の生涯学習に資するとともに、図書館 サービスの充実を図った。また、社会教育委員会議や利用者 アンケート、窓口へのご意見箱の設置等により、専門家や市 民意見の収集に努め、図書館活動に反映した。</p> <p>「図書館の施設・設備の改修・改善」については、市の市有 建築物保全計画に基づき、施設の改修を行った。また、老朽 化が進行する香里ヶ丘図書館の耐震診断を行うとともに、香 里ヶ丘図書館の建替えを視野に必要な検討を行った。</p> <p>(総括) 誰もが使いやすい図書館の構築が進展した</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先進的な障害者サービスの継続とその先進性の発信 ・ ボランティアの各グループのスキルの向上と、さらなる市民意見の収集・分析に基づく市民意見が反映される図書館運営 ・ 市有建築物保全計画に基づく施設改修の継続と香里ヶ丘図書館の建替え
<p>5. 効率的効果的なサービス提供を行う図書館をめざします</p>	<p>「効率的効果的な運営体制の構築」については、多様な任用 形態の採用による適材適所の職員配置を行い、より効率的な 運営体制を確立した。自動車文庫は、路上ステーションの見 直しを進めた。また、中央図書館を司令塔とした、中央図書 館・分館・分室・自動車文庫の最適な役割分担と効率的効果 的な運営体制についての方向性を明らかにした。</p> <p>「職員の資質の向上と人材育成」については、職員を図書館 内外の研修に参加させ、資質の向上を図った。</p> <p>「適切な蔵書管理」については、全分館に盗難防止装置（B D S）、複数の分室に防犯ミラーを設置し、蔵書管理体制の充 実に努めた。</p> <p>「機械化・情報化などの検討」については、自動貸出機の増 設を行った。</p> <p>(総括) 効率的効果的なサービス提供体制が確立できた</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ さらなる効率的効果的な運営体制の構築 ・ より高度で専門的な知識・技術を持つ職員の育成と、専門職員が持つノウハウの継承 ・ 適正な蔵書管理と蔵書保存・除籍基準の改正 ・ 自動貸出機の費用対効果の検証 ・ 情報提供環境の整備
<p>(第2次グランドビジョン全体の総括)</p> <p>枚方市立図書館第2次グランドビジョンについては、全体としてその目的を達した。今後に向けた課題については、第3次グランドビジョンに引き継ぎ、課題の解決に向けた取組を進めていく。</p>		

第4章 市立図書館運営の基本的な考え方

(1) 市立図書館をめぐる課題

- ①基礎的な図書館サービスの充実に係る課題
- ②役に立つ図書館の構築に係る課題
- ③図書館が持つノウハウ・教育的機能を活かした取り組みに係る課題
- ④魅力的かつ効果的・効率的な図書館運営体制の構築に係る課題

資料5「市立図書館運営の基本的な考え方（概要図）[案]」に示した「解決すべき課題（引き継ぐ課題・新たな課題）」を文章化して記入する

(2) これからの市立図書館運営のあり方

資料6「市立図書館運営の基本的な考え方（概念図）[案]」の考え方をここに文章化する

第5章 市立図書館の運営方針

- (1) 基本的な図書館サービスの充実に図ります
- (2) 市民の課題解決のための各種支援機能の強化を図ります
- (3) 教育的役割を重視した取組を推進します
- (4) 魅力的かつ効果的・効率的な運営体制を構築します

資料5「市立図書館運営の基本的な考え方（概要図）[案]」に示した「方針」及び「取り組みの方向」を文章化して記入する

第6章 運営方針の具体化とその推進

1. 第2回社会教育委員会議での検討結果を踏まえ、運営方針と取組の方向に対して、それぞれ解決すべき課題をベースにした、具体的な施策と取組を設定する。
2. それぞれの施策・取組の推進方法、進捗管理、評価指標等について記入する